

## 湯沢町総合戦略(2020-204)のパブリックコメントの結果について

湯沢町総合戦略(2020-2024)に対する意見募集を行った結果、1名の方からご意見をいただきました。

提出されたご意見についての町の考え方は次のとおりです。

貴重なご意見ありがとうございました。

### ◆募集概要

募集期間	令和2年1月12日(日)～令和2年2月10日(月)
意見の応募者数	1名
提出方法の内訳	電子メール1件

湯沢町総合戦略(2020-2024)  
パブリックコメント一覧と町の考え方

番号	住所	氏名	年齢	職業	性別	受付月日
1	湯沢町大字湯沢		60代	自営業	男	2.2.10
意見(抜粋)			頁	基本目標	町の考え方	
<p>P1 総合戦略との言葉を聞くと難しく感じましたが、平たく言うと、人口減少を克服したい(できれば増やしたい)ということだと思います。人口を増やすには、住みよい町にして、転出者をなくして、子供をたくさん産むか、移住者を増やすしかないと思われます。</p> <p>湯沢町への移住を考えた場合、(湯沢町の基幹産業になる観光業で住込みの店舗を構える場合などを除いては)、リゾートマンションへの移住が、雪かきなども不要で、一番良いと思うのですが、総合戦略(2020-2024)の中でも、マンションという言葉は、P.8の「中古マンションも居住物件として見直されてきています。」という部分の1箇所のみで、控えめのアピールにとどまっているような感じを受けました。</p> <p>町の人口の1割以上がマンション定住者(シニア層中心で?)、増加傾向にあるとは聞いていますが、「まだ、若い人たちが、積極的に、移住先として選択したくなるような状況ではない。」ように思われます。リゾートマンションへの移住が一番良いのに、若い人たちの移住者が増えないのは、リゾートマンションへの悪いイメージが定着してしまっているためかとも思われます。</p> <p>P2 (略)提案なのですが、(略)施策の中に、リゾートマンションへの定住化促進策(マンションの管理の問題の改善)も、ぜひ、盛り込んでほしいと思います。</p> <p>P3 リゾートマンションへの定住化促進(マンション管理の問題改善)の7つの具体策(ご提案)</p> <p>P4 1. 専門家(衛生管理者免許も有する1級建築士さんがベスト)による定期巡回とアドバイス</p> <p>P10 2. 会計報告の湯沢町統一様式の実施と湯沢町の会計専門家による会計監査の実施</p> <p>P11 3. マンション解体費用の積み立てと、高額になる積立金の安心安全な管理施策の実施</p> <p>P12 4. マンション管理組合の理事会の(湯沢町統一方式の)望ましい役員選任方法の実施</p> <p>P14 5. (準非常時の)理事専用の受信専用携帯電話の契約勧奨の実施</p> <p>P14 6. 湯沢町の郵便局さんのご協力もお願いして「郵便物のマンション戸別配達の実現」</p> <p>P15 7. リゾートマンションのインターネット回線の整備</p>			8	3 若者が生活の場として選択する(重点目標)	<p>町としても、移住・定住だけでなく交流人口、関係人口の創出・拡大を目指す観点から、リゾートマンションが適正に管理され、多くの方々にリゾートや定住で活用されることを期待しています。</p> <p>しかし、マンションによっては定住を受け入れないとしていたケースもあるため、他の一戸建てと同様に居住先の選択肢として紹介する程度としています。</p> <p>なお、各マンションにおける各種問題等は、基本的には各管理組合にて解決、対応していただくこととなります。難しい場合は専門的な機関(例えば公益財団法人マンション管理センター等)を紹介するなどの対応をしています。</p> <p>非常時における連絡手段につきましては、毎年開催しているマンション管理組合理事長等連絡会議時において、管理組合の役職に就いていらっしゃる方の連絡先等を提供いただいています。</p> <p>郵便物のマンション戸別配達につきましては、常時オートロック施設しているなど、各マンションによって状況が異なると思われますので、各マンションにて個別に対応していただくこととなります。</p>	

<p>P23 総合戦略という言葉を知ると難しく感じますが、平たく言うと、人口減少を克服したい(できれば増やしたい)ということから、湯沢町総合戦略(2020-2024)のP.9の基本目標4(子どもがすくすく育つまち)を拝見させていただきますと、事業名「◎湯沢町を誇りに思い、たくましく生きる子どもを育てます」の事業概要の前半部分とKPIの内容は、湯沢町の子を育てる方針(施策)であって、人口の増加施策とは、若干違うような方向の内容かと感じました。勿論、湯沢町を誇りに思いつつ次代を担うたくましく生きる子供を育てることは、湯沢町の教育の内容、方針としては、必要不可欠で、望ましく、当然、取り組まれるべき施策かと思われませんが、人口減少を克服したい、できれば、増やしたいために取り組む事業としては、後半の「子育て世代が移住先を選ぶ際の魅力の一つとなるよう、・・・」の部分がメインとなって、KPIは、移住者の子育て世代の方たちの中から、移住先を選ぶ際の魅力の一つとして「湯沢学園の特色などが理由になった」という人たちの割合になるような、感じも致しました。</p>	9	4 子どもがすくすく育つまち	<p>基本目標4については、結婚、出産、育児に係る支援を掲げています。その中で、湯沢学園の教育体制は、移住先を選ぶ際の魅力の一つとなることも目指していますが、移住者に限らず、湯沢町の子どもに12年間を通じて地域文化教育を取り入れた子育て・教育を実施するものです。将来的に湯沢町に愛着を持ち、定住につながることを目指しています。</p> <p>そのため、移住者だけを対象としたKPIでは不十分と考えます。</p>
<p>その他の提案、要望等</p>			<p>湯沢町に関わるご提案、ご要望につきましては、今後の施策検討の際の参考とさせていただきます。その他、関係機関等に関わる部分につきましては、各関係機関へ情報提供させていただきます。</p>